

届く声・送る言葉（日々の相談かた）

なみで生きているんだうう

どう声をかけてあげればいいか分からなくて

お母さんに頑張りを認めアもういたくて

ママが痛いです こんなに懶んでいることもしないで…

私たちへ、少しでも子ばに居てくれたう嬉しいです

お愛の相談もありですか？

一人で元気張らないでね
いつでも一緒に考えるからね

誰か言葉をかけてしまはげます
何か大事なけど、そばに寄り添って
私も大事なけど、頬に耳を傾けてあげることが
じつと話に耳を傾けるのが、イヤが
お腹が痛くなるのは、体が
お腹張りすぎだよ！」つて
「元気張りすぎているのかもね
知らせてくれているのかもね

「誰でも信じてしまうこと」と

「誰も信じないことは似ていますよ。

それには、相手が「どれくらい

信じることができるのか？」、相手をよく

知ろうとしているという意味ですね

ご報告、ありがとうございます
いい涙を流したんだね(^\。^)/
よかったです！

すごいね…見守るって
とっても難しいことだよ
どうしたらいいのか、
どうしちゃうかのパートーンで
どういくつかのきましょう
一緒にいいきましょう
考えていいきましょう

お母さんが分かってくれて、
すごいよかったです！

やつぱり、誰かに相談すると
気持ちが楽になります。(^-^)o
これからは、今までより仲良くなれそうです
ありがとうございました！

相談の後には、こんなお返事も

子どもアシストセンターでは、多くの子どもたちから様々な相談が寄せられています。
相談員の言葉をきっかけで、自ら問題を解決し成長していく子どもの姿も多くられます。
日々の相談の様子の一端をご紹介します。相談業務の雰囲気を感じ取っていただければと思います。
(※プライバシー保護のため、一部加工しています)